

公共施設マネジメント戦略会議（全体調整部会） 令和2年度第1回会議次第

令和2年（2020年）8月18日（火）
庁内フォーラム開催

◎ 議 題

「FM戦略プラン（第7章）」に位置付けた取組みの現状と今後の予定について

▽会議資料

資料1 「FM戦略プラン（第7章）」に位置付けた取組みの現状と今後の予定
について

【参考】 横須賀市FM戦略プラン（概要版）

事務担当：財政部FM推進課 計画推進担当
内 線 1 7 4 7
直 通 8 2 2 - 9 6 1 7

「FM戦略プラン(第7章)」に位置付けた取組みの現状と今後の予定について

(1) FM戦略プランの方針を早期に発揮させるための取組み

番号	①	取組名	地域コミュニティの拠点づくり
		概要	多様な世代の地域住民が、集い、交流できる「居場所機能(個人が予約なしで自由に訪れることができるスペース等)」を、当該地域の拠点となっている施設に設けることについて検討します。
		令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地域拠点機能のあり方を検討するため、施設を所管する関係課による検討部会を設置し、計7回の会議を開催しました。 拠点の広さ、主な機能等について具体化を検討しました。
		令和2年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 年1～2地域の地域拠点化を目指し、令和2年度は1地域を対象に検討を始めます。 令和2年秋までに先行着手地域を選定し、翌春から地域住民等による検討会に着手します。 拠点設置先となる可能性が高い施設は学校であるため、策定中の小中学校適正規模・配置計画と整合性を図ります。 学校以外への地域拠点設置にあたっては、下記②の老朽化施設に該当しない老人福祉センターや青少年の家を全世代型の地域拠点に再編することも選択肢として検討します。
		R2(2020) R3(2021)以降	
		前期	中期
		後期	

番号	②	取組名	老朽化施設に対する安全確保の取組み
		概要	<p>旧耐震基準で整備された施設を中心に、安全確保に向けた対応を図ります。 (旧耐震基準建物)</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年の家: 8施設【追浜・本公郷・衣笠・森崎・浦賀・鴨居・久里浜・大楠】 老人福祉センター: 2施設【船越・秋谷】 市営住宅: 4施設【田浦月見台・長浦・大津・池の谷戸】
		令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 青少年の家や老人福祉センターは上記①の居場所機能と類似性があるため、これらの施設がある地区について、上記①の地域拠点化への移行を基本として、施設廃止の検討を進めました。 市営住宅は市営住宅ストック総合活用計画に基づき、順次取組みを進めました。
		令和2年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センター及び青少年の家は、当プラン期間内での対象施設すべての廃止に向けて検討を進めます。 市営住宅は、田浦月見台を令和3年度末までに廃止予定ですが、他の3施設の廃止時期は未定です。 その他、相当の築年数が経過した公共施設については、安全確保の必要性はもちろん、周辺で再編案件が生じる場合にも、廃止の必要性を検討します。
		R2(2020) R3(2021)以降	
		前期	中期
		後期	

番号	③	取組名	施設の集約・複合化に向けた取組み
概要	施設の移転・更新を行う際には、他施設との集約・複合化によって面積縮減を図り、より効率的で利便性の高い施設としていくことを原則とします。		
令和元年度の状況	・当プラン第7章(1)①～⑥の再編を伴う取組みを実施する際には、原則として、集約・複合化を念頭に入れて検討しました。		
令和2年度以降の予定	・施設の新設や建て替えにあたっては、周辺の公共施設との集約・複合化を常に意識して進めます。		
	・特に、施設の拠点性や効率的な利用という視点で、学校施設の複合利用に着目します。		
	R2(2020)		R3(2021)以降
	前期	中期	後期
(1)①～⑥の再編を伴う取組みの実施時に併せて集約・複合化を検討			

番号	④	取組名	民間との協働による取組みの推進
概要	PFI手法のように制度化された公民連携はもちろん、民間施設の利活用や民間団体との協力関係構築など、費用を抑えつつ良質な公共サービスを提供することが期待できる民間との協働について、その可能性を積極的に検討します。		
令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅のうち、本公郷建て替え事業については、PFI手法により、現在取組みを進めています。 ・秋谷老人福祉センター廃止にあたっては、民間との連携も視野に検討を始めました。 ・学校水泳授業の民間施設利用について、議会から質問を受け、教育委員会で検討する旨を回答しました。 		
令和2年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の取組みを引き続き進めます。 ・施設サービスの提供にあたり、民間等が所有するスポーツ施設、ホール、貸室等を活用する手法について検討を進めます。 		
	R2(2020)		R3(2021)以降
	前期	中期	後期
	本公郷改良アパートの建替え(PFI)を実施(～2025年)		
	秋谷老セン跡地活用に関する庁内部局間での連携した検討		
民間・他団体保有施設活用の検討			

番号	⑤	取組名	適正な施設保全の推進
概要	施設の保全に関する計画を策定し、長寿命化に向けた取組みを計画的に行います。		
令和元年度の状況	・公共施設保全計画を令和元年度末に策定しました。		
令和2年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設保全計画で示された建物の評価結果に応じて、大規模改修等の長寿命化に向けた取組みを実施(予算への直接的な反映は令和3年度から)します。 ・市実施計画(2022～2025)へ改修候補施設・予算枠等を位置付けることで、4年分の取組枠を予算とともに明確にします。 		
	R2(2020)		R3(2021)以降
	前期	中期	後期
	計画に基づく保全の実施		
	実施計画に位置付け(R4～)		
R3から計画に基づく予算計上			

番号	⑥	取組名	小・中学校の適正規模・適正配置の取組み		
概要	<p>本市には、小学校46、中学校23の計69校の市立小・中学校があり、床面積で見ると、公共施設全体の約4割を占めています。</p> <p>今後、児童数が少なくなる学校や、通学距離が長い学校等について適正規模・適正配置を進めるため、具体的な検討地域や時期を定めた「実施計画」を策定します。</p> <p>「実施計画」に基づき、学校関係者や保護者、地域の方々で構成する「地域別小中学校適正規模・配置検討協議会」を設置し、通学区域の見直しや統廃合などの方策を検討します。</p>				
令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 学校の適正規模・配置に関する計画について、策定に向けた検討を進めました(教育委員会)。 				
令和2年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度末を目標に、教育的観点も踏まえた、学校の適正規模・配置に関する計画を策定します(教育委員会)。 ①の地域拠点機能を学校に設ける場合には、学校の計画における当該校の位置づけを踏まえて検討します。 再編の対象となる学校に他の公共施設の機能を付加させる場合には、地域別の検討会等を教育委員会と合同で開催します。 学校の計画はFM戦略プランの目標達成上も重要な位置付けを占めるので、強固な連携を図ります。 				
	R2(2020)			R3(2021)以降	
	前期	中期	後期		
	適正規模・配置計画の策定			対象校に関する地域調整	

番号	⑦	取組名	施設使用料等の見直し		
概要	<p>将来の公共施設の適正な管理と安定的な運用に向けて、施設使用料等のあり方を見直します。</p>				
令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 公の施設の使用料に関する基本方針を6月下旬に策定しました(行財政改革担当)。 9月定例議会で施設使用料に関する条例改正(案)をご議決いただきました(行財政改革担当)。 2月頃から、各施設利用者に見直し後の料金体系の説明会を開催しました。 				
令和2年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から、新たな額による使用料徴収を行います(激変緩和措置あり)。 将来的に、激変緩和措置を講じた暫定金額を、本来金額に見直します。 使用料改定に伴う収入増については、FM戦略プランの効果額として計上します。 				
	R2(2020)			R3(2021)以降	
	前期	中期	後期		
	新使用料徴収(激変緩和措置あり)			使用料徴収見直し(本来金額)	

番号	⑧	取組名	維持管理費縮減の取組み		
概要	維持管理費の縮減に向けて、維持管理手法や委託方法の見直しの他、施設のあり方についても検討します。				
令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理手法の見直しを図るため、検討部会を5月に設置し、これまで2回の会議を開催した他、関係課との意見交換も複数回実施しました。 契約事務負担の軽減等に向けて、同一業務に対する個別契約を複数契約に、単年度契約を複数年度契約にすることなど、実現可能性が考えられるものをリストアップしました。 				
令和2年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 委託について、早ければ、令和3年度からより効率的な契約に見直しが進められるものがあることから、当該年度予算要求時期までに具体的に検討します。 契約形態の見直しになることから、契約課にも意見を求め、事業者に不利な状況が生まれないような配慮します。 将来的に複数の業務や施設を包括的に委託をする包括委託の必要性も検討するため、先進自治体の調査を行います。 				
	R2(2020)			R3(2021)以降	
	前期	中期	後期		

番号	⑨	取組名	利用率向上のための取組み		
概要	利用率向上を図るため、市民にとって利便性の高い施設となるように、ソフト・ハードの双方から取組みを進めます。				
令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 未着手 貸館の一元管理による利便性向上については、議会からの質疑がありました。 				
令和2年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 利用率が低いと思われる施設の実態を調査します。 特に、類似性がある貸館施設(総合福祉会館、産業交流プラザ、ヴェルクよこすか、コミュニティセンター等)について、予約、減免、使用料の一元化により、利便性の向上を図れないか、関係課による部会設置により検討します。 一元管理による施設の効率的な利用によって、施設縮減につなげられないか併せて検討します。 				
	R2(2020)			R3(2021)以降	
	前期	中期	後期		

番号	⑩	取組名	未利用施設の速やかな資産活用		
概要	前記まで(①～⑨)の取組みに伴い、行政目的での利活用が見込まれなくなった施設については、速やかに売却・貸付を行うことや、サウンディング調査を行い、新たな活用方法を民間事業者から募ることなど、資産としての活用を積極的に進めます。				
令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 土地・建物の適正利用について検討するため、公有未利用地等活用検討部会を平成30年度に設置し、庁内マッチングの取組みを開始しました。 平成30年度には、土木部倉庫を選挙管理委員会が、令和元年度に、市民部倉庫を文化スポーツ観光部が活用するマッチングを実現しました。 				
令和2年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な調査による未利用施設の状況確認の他、部局の取組みに伴い生じた突発的な事例にも随時対応していきます。 				
	R2(2020)			R3(2021)以降	
	前期	中期	後期		

(2)横須賀再興プランに位置付けられている取組み

番号	①	取組名	(仮称)中央こども園の整備			
概要	上町保育園と鶴が丘保育園を統合の上、子育て支援機能を持つ拠点施設として、(仮称)中央こども園を整備します。					
令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 職員厚生会館建物を改修して、中央こども園を整備する方針を決定しました。 当該建物には、こども園のほか、一時預かり、病後児保育、愛らんど、保育士研修室を併設する予定としました。 ヴェルクよこすか(勤労福祉会館)に厚生会館機能が移転する旨の市民説明会を開催しました。 					
令和2年度以降の予定	R2(2020)		R3(2021)		R4(2022)以降	
	前期	中期	後期			

番号	②	取組名	スクールコミュニティの推進			
概要	子どもから高齢者まで様々な世代が交流できる仕組みとして、小学校等の学校施設内に地域コミュニティ機能を集約するなど、地域のコミュニティ拠点を整備します。					
令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民部、教育委員会が中心となり、汐入小学校をモデル校として地域のコミュニティ拠点を設け、地域の活動団体により地域住民と当該校の児童による交流に関する取組みを行っています。 					
令和2年度以降の予定	R2(2020)		R3(2021)以降			
	前期	中期	後期			

番号	③	取組名	市街地再開発事業における公共施設の参画			
概要	中心市街地や拠点市街地の活性化、防災性の向上、都市機能の更新を図るため、市街地再開発事業への支援を行います。					
令和元年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 追浜駅前において、図書館などの公共施設の移転も含め、再開発の具体的な検討を行いました。 					
令和2年度以降の予定	R2(2020)		R3(2021)以降			
	前期	中期	後期			